

## 油切れの対処

○外部に設置して有ります、油タンクの上部点検口(写真)を開き燃料の有無を確認して下さい。油が無い場合は補給して下さい。

**注意点：**点検口から覗き込む時は明かりに懐中電灯を使い、ライター等は危険ですので絶対使わないで下さい。

○作業終了後は上部点検口のフタを確実に閉めカギ掛けを確認して下さい。



○バーナー左側に付いていますオイルクリーナーの上部エア抜きネジを緩め油が出る事を確認して下さい。これで油配管のエアが抜けます。

**注意点：**作業される時は溢れる油を受ける容器を用意して受けて下さい。又、受けた油は適切な処理をし外部に流さない様、十分な配慮をお願い致します。

○作業終了後エア抜きネジ(写真)は確実に閉め油漏れの無い事を確認して下さい。

○バーナー左側のオイルポンプと圧力メーター間に付いていますエア抜きバルブ(写真)を開けて運転を開始しますと勢い良く油が出ましたらバルブを閉めて下さい。これでポンプ内のエアが抜けます。

**注意点：**作業される時はバルブから勢い良く出る油を受ける容器を用意して受けて下さい。

又、受けた油は適切な処理をし、外部に流さない様に十分な配慮をお願い致します。

○作業終了後エア抜きバルブ(写真)は確実に閉め油漏れの無い事を確認して下さい。

※運転を開始される前に、各部の油漏れが無いか再度確認の上御使用下さい。



## フィルター

○オイルクリーナーのフィルター(写真)の掃除。写真の6mmのボルト4本を外します(リングを傷つけない事)と、フィルターが有りますので柔らかいブラシで掃除して下さい。(フィルターは数枚の板の組み合わせに成っています。)ケース内に溜まったドレンを灯油で洗って下さい。

**注意点：**ドレン・洗い油等は適切な処理をお願い致します。



○オイルポンプのフィルター(写真)の掃除。ボルトを六角レンチで外します(パッキンを傷つけない事)と、円筒形のフィルターが有りますので柔らかいブラシで灯油等で洗って掃除して下さい。

**注意点：**ドレン・洗い油等は適切な処理をお願い致します。



○バーナーノズルのフィルター(写真)の掃除。ノズルレンチで外しますとフィルターが有りますので、柔らかいブラシで灯油等で洗って掃除して下さい。

**注意点：**ドレン・洗い油等は適切な処理をお願い致します。

○ご説明した以外のボルト・ネジを緩めたり、外したりしない様にして下さい。トルクレンチ等で規定の力で締め付けないと故障の原因になりますのでお止め下さい。

